

令和 7 年 度 事 業 計 画

(1) 学校建設事業

今年度の事業については、前年度以降、学校建設事業の実施は不可能な状態と報告の通りです。今年度もこの事業に取り掛かれる見通しは立っていません。

(2) ボランティア派遣事業

昨年度に準じて、今年度もボランティア派遣を行う予定です。

今年度 南山大学 有志団体コアグループ「RASA」として、参加者 15 名中南山大生 14 名が登録済。これにより、ボランティア体験者として学内でボランティア派遣事業の募集やボランティア活動が 5 年ぶりに可能となりました。

【Study Tour 2026 募集要項】(予定)

活動期間：2026 年 2 月～3 月 (18 日間)

活動場所：サウスビル I 小学校 (フィリピン ラグナ州 カブヤオ市)

活動内容：①食品配布の準備と配布作業、支援対象児童宅訪問

②現地小学校での日本語授業

③1 人 1 家庭のホームステイ等

④マニラ史跡訪問、スモーキー・マウンテン見学、企業訪問等

募集定員：20 名 (先着順)

参加費：26~28 万円

※活動期間は昨年度の参加者から、もう少し長い期間での活動を望む意見があり、それを反映して活動に企業訪問も加える等して、13 日間から 18 日間に変更する。

そのため、参加費も増額とする。

※活動内容の授業については、昨年度と同様に 6 年生を対象に行う。現地と連絡とりながら具体的な課目を決めて、事前研修会で準備した内容で行いたい。

その他の活動についても、現地と検討していく。

※7 月頃現地に出張し、ボランティア派遣について学校と RASA 及び現地支所責任者で打ち合わせ予定です。

(3) 栄養失調児救済事業

食品配布支援

今年度においては、昨年度に準じて4～5月については既に送金しており、今定時総会の翌月7月から年間予算を按分して、日本円額で送金する予定です。

○食品の年間予算：日本円で350万円（為替変動の影響なし）

○人件費：コーディネーター費 3,000 ペソ/月×12 ヶ月 2 名

ヘルパー費 2,000 ペソ/月×12 ヶ月 2 名

○管理費：支所責任者の給料 5,000 ペソ /月×12 ヶ月+ボーナス

○ガソリン他経費：2,000 ペソ /月×12 ヶ月

合計 470 万円（昨年度に準じて支援を行う）

○支援対象の選択基準は、昨年度と同様とする。

○配布は毎月2回。但し、学校夏休暇期間は1回にまとめて配布する場合もある。

○配布内容について

配付食品：米、粉ミルク、卵、缶詰、ヌードル、クリスマス時にパスタセット

物価上昇をしておりますが、毎月一定の予算内において、配付1回につき米5kgはカロリー源として配布量を変更しません。

成長に必須である良質の蛋白質の卵と、吸収の良い良質のカルシウム源である粉ミルクは、現在の量を確保または増加できるように予算内で重視し、栄養指導をしながら支援を継続していきます。

※7月頃現地に出張し、食品配布支援について学校と RASA 及び現地支所責任者で契約予定です。